

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	37-1	
PDCA	主要事業名	監査事務事業	部課名	監査委員事務局	担当 内線	566 鈴木	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1.2 単位施策： 行政運営・財政運営 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 3,112 千円 会計 一般会計 歳出科目： 02.06.01.02.01					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 地方自治法、地方公営企業法及び地方公共団体の財務の健全化に関する法律の規定に基づき、各課の事務事業について、合规性、正確性を基本とし、経済性、効率性及び有効性の観点から、「半田市監査基準」に従い、的確な決算審査、定例監査及び例月出納検査など（以下「監査等」という。）を実施する。					
		事業目的： 行政及び財政に関する事務の執行並びに経営に係る事業の管理または事務の執行について、住民福祉増進のため、効果的な確保に資しているか究明する。					
		事業内容： 年間計画に基づき、監査等を実施する。					
		問題点・課題等： 監査などの目的を十分に認識し、実施に係る技量を磨き、知識の習得、情報の収集・分析を怠らず、本来、あるべき姿を求め、発生原因を究明する必要がある。					
	予算額	主要事業とする理由					
	3,112 千円	正確性、合规性、経済性、効率性及び有効性の観点により監査等を実施し、公正で合理的かつ能率的な行財政運営が図られる。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 3,112 千円	財務事務の執行及び経営に係る事業に関する監査等を実施することにより、市の行財政運営が法令に適合し、正確で経済的、効果的かつ合理的に実施される。					
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
県費 0 千円	計画的に監査等を実施し、法令遵守や適正な事務執行を促す。						
その他 0 千円							
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果					
	2,920 千円	半田市監査基準に則った年間計画に基づき、効果的かつ効率的な監査等を実施することができた。また、定例監査において指摘した事項について、フォローアップを実施することで、事業の進捗及び状況確認を行うことができた。					
		成果指標					
C 課題の整理	事業の評価・課題	年間計画に基づき、効果的かつ効率的に監査等を実施することができた。 また、予定していた乙川中学校改築工事の工事監査について、技術士からの助言や提案等を受けながら、工事の計画、設計、施工等に関して、技術的な視点から工事監査を実施することができた。 なお、事業が多様化する中、監査等の目的を十分に認識し、実施に係る技量を磨き、知識の習得、情報の収集・分析を怠らず、本来、あるべき姿を求め、発生原因を究明する必要がある。					
		B					
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	改善推進 合规性、正確性、経済性、効率性及び有効性の観点により、公正で合理的かつ効果的な行政運営が図られるよう、引き続き監査等を実施する。 特に、決算審査では計数の正否、収入支出の合法性等の審査に加え、各課等が実施している事業の効果、成果及び新たに生じた課題を把握し、適切な評価と対策などを提案する。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	-	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	-	

評価項目（決算時に作成）